

平成30年度  
環境活動レポート

対象期間：平成30年10月～令和元年9月  
発行日：令和2年1月30日

## 目次

1. 環境方針
2. 事業概要及び認証登録範囲
3. 実施体制
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認およびその評価並びに違反、訴訟の有無
9. 代表者による全体評価と見直し結果
10. 情報公開事項

# 1 環境方針

## 環境理念

有限会社栄和興業は、豊かな自然環境を将来に引き継ぐために、事業活動に際し、法令遵守はもとより、環境負荷の低減および環境保全活動に積極的に取り組みます。

## 行動指針

1. 使用する車両等は、省エネ・環境に対応して適切に使用し、環境に配慮した事業活動を実施します。
2. 省エネルギー、節水、グリーン調達に努めます。
3. 事業活動に関連する法規制は必ず遵守致します。
4. 地域活動、環境保全活動へ積極的に参加致します。
5. この環境方針は従業員へ周知させると共に、要求があれば外部に公表します。

、 第 1 版

制定日 平成 29 年 8 月 1 日

有限会社栄和興業  
代表取締役社長

鈴木 義治



## 2 事業概要及び認証登録範囲

### 1. 名称及び代表者名

有限会社栄和興業  
代表取締役 鈴木義治

### 2. 所在地

岩手県一関市東山町長坂字南磐井里 5 3 番 1  
TEL : 0191-47-2545 FAX : 0191-47-4226

### 3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 佐藤和弘 TEL:0191-47-2545

### 4. 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業 一般貨物自動車運送業

### 5. 事業規模

事業年度	平成29年度	平成30年度
資本金	3百万円	3百万円
売上高	490百万円	488百万円
産業廃棄物収集運搬量	46,177 t	61,989 t
従業員数	26名	28名

### 6. 認証登録範囲

全組織、全活動が認証範囲

### 7. 許可

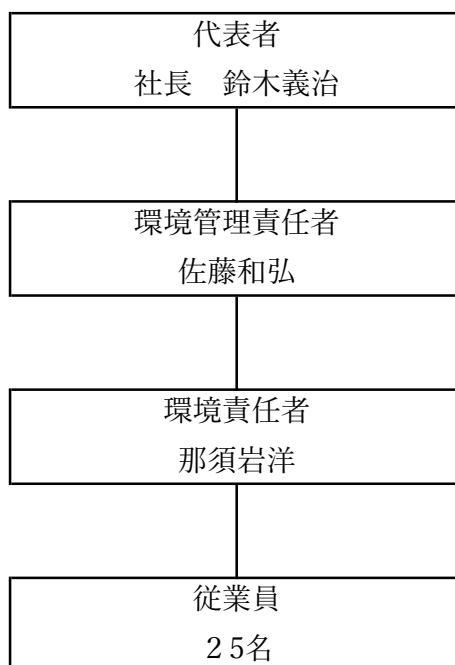
岩手県産業廃棄物収集運搬業許可  
宮城県産業廃棄物収集運搬業許可  
秋田県産業廃棄物収集運搬業許可  
福島県産業廃棄物収集運搬業許可  
山形県産業廃棄物収集運搬業許可

### 8. 保有車両

ダンプトラック 17台

### 3 実施体制

#### 1. 組織



#### 2. 役割及び権限

役職	役割・責任・権限
代表者	・ 環境管理システムの統括責任者
	・ 環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知する
	・ 環境目標、環境活動計画書を承認する
	・ 環境管理責任者を任命する
	・ 全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者	・ 環境活動の取り決め結果を代表者へ報告
	・ 環境法規制の取り纏め表作成および遵守評価の実施
	・ 環境関連の外部コミュニケーション窓口
環境責任者	・ 環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・ 問題点の発見、是正、予防処置の実施
	・ 環境活動の取り決め結果を代表者へ報告実績収集
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を理解する
	・ 省エネルギー、節水、省資源に努める

## 4 環境目標

### 1. 主な環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

項目	単位	基準年 (H27年度)	H28年度	H29年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,172,084.9	1,027,548.1	1,073,980.6
総排水量	m <sup>3</sup>	853.0	960.0	853.0
電力購入量	kwh	13,512.0	16,010.0	17,028.0
灯油購入量	ℓ	5,513.0	5,120.0	3,804.0
軽油購入量	ℓ	437,703.1	378,471.8	397,199.8

電力購入量の二酸化炭素排出係数は0.556（H27年東北電力の排出係数）を使用。

電力購入量は、平成29年7月実績をもとに1年分を算出し実績値としました。

### 2. 環境目標の設定

平成27年度を基準年度として単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し環境活動に取り組んでいます。

表2 環境目標

項目	単位	基準値 (平成27年度)	平成30年度	平成31年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,172,084.9	1,148,643.2	1,136,922.4
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO2	7,512.7	9,372.9	9,278.2
車両の燃費向上	km/ℓ	2.84	2.90	2.93
重機の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	49,747.0	45,650.4	45,650.4
灯油・LPG等の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	13,924.4	13,367.4	13,228.2
産業廃棄物削減（廃油）	ℓ	1,200.0	1,200.0	1,200.0
節水	m <sup>3</sup>	853.0	835.9	827.4
環境苦情	件	0	0	0
消耗品・事務用品	品種	0	維持・増加	維持・増加
EA21取組教育	回	1	1	1
緊急事態訓練	回	1	1	1
地域清掃活動への参加	人	1	2	2

電力の二酸化炭素排出量は、H31年11月に平成30年度、平成31年度の目標値を見直ししました。

## 5 環境活動計画

当社は、環境目標を達成するために以下の活動に取り組めます。

項目		取組内容	
二酸化炭素排出量の抑制	電力の二酸化炭素排出量の削減	照明	部屋を使用していないときは消灯する
			トイレ、倉庫など使用しないときは消灯する
			事務所の部分照明を実行する
		冷暖房	冷暖房の無駄を省き、クールビズ・ウォームビズを励行する
			使用しない部屋は空調を停止する
			ドアの開け放しはしない
		節電	ブラインド等を使用し、直射日光を遮る
			部屋が無人の時は消灯する
			昼休みは消灯する
	退社時はパソコンの電源を切る		
	OA機器は省電力設定する		
	通電の必要があるOA機器以外のOA機器は使用時以外は電源を切る		
	自動車燃料等の二酸化炭素排出量の削減	車両	エアドリングストップを実践する
			急発進、急加速はしない
			空ぶかしはしない
冷暖房の控えめ使用			
タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する			
灯油・LPG等の二酸化炭素排出量の削減	灯油	暖房の無駄を省き、ウォームビズを励行する	
		給湯の湯温を上げすぎない	
		洗車時の温度設定（60℃以下）を遵守する	
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の削減	一般廃棄物	業務に支障のない文書は両面コピーとする
			業務に支障のない文書は、使用済み用紙の裏面を使用する
			電子メールを利用し、紙の使用量を削減する
			文書の共有を図り、不要な印刷物を削減する
			紙コップなど使い捨て製品の使用や購入を抑える
			OA機器のトナー、インクカートリッジの回収、リサイクルを推奨する
			リターナ容器に入った製品を優先的に購入・使用する
			使用済みの封筒を再利用する
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物	飛散、漏洩など、保管の状態に問題がないよう管理する
			産業廃棄物は所定の置き場に分別保管する
節水	水道水の使用量削減	節水	節水に努める
			水道水を出しすぎない
グリーン購入		環境ラベル表示製品を優先的に購入する	

## 6 環境目標の実績

項目	単位	基準年度実績値 (平成27年度)	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,172,084.9	1,148,643.0	1,071,226.8	達成
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO2	7,512.6	9,372.9	9,047.8	達成
車両の燃費向上	km/ℓ	2.84	2.90	2.88	未達
重機の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	49,747.0	45,650.4	54,250.4	未達
灯油・LPG等の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	13,924.4	13,367.4	8,919.2	達成
産業廃棄物削減（廃油）	ℓ	1,200.0	1,200.0	0.0	達成
節水	m <sup>3</sup>	853.0	835.9	996.0	未達
環境苦情	件	0	0	0	達成
消耗品・事務用品	品種	0	維持・増加	2品種増加	達成
EA21取組教育	回	1	1	1	達成
緊急事態対応訓練	回	1	1	1	達成
地域清掃活動への参加	人	1	2	2	達成

環境教育



地域清掃活動へ参加





## 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 取組結果の評価

項目		実施状況	達成度	次年度の取組
二酸化炭素排出量の抑制	照明	使用しない部屋の消灯、部分照明の実施はできている	○	継続する
	冷暖房	使用しない部屋の空調停止や冷暖房器の適正温度管理が実施されていた	○	継続する
	節電	節電について習慣化されてきた	○	継続する
	車両	目標未達成であるが、燃費平均値が昨年度より向上できた	○	継続する
	灯油	目標を達成できた	○	継続する
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	裏紙使用の習慣化や電子メールの活用ができた	○	継続する
	産業廃棄物	オイル交換作業の業者委託とし、処理量を無くすことができた	○	計測する
節水	節水	目標未達成であるが、節水を心がけてきた	△	継続する
グリーン購入		購入品種を増やせた	○	継続する

達成度 ○：評価できる △：まずまず評価できる ×：評価できない

## 8 環境法規制等の遵守状況の確認および評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が環境関連法規について遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。また、過去3年間、関係当局からの違反の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について問題はありませんでした。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し事項	評価	改善及び指示
1. 環境方針	変更の必要性はないと判断する	現在の環境方針で活動を進める
2. 環境目標	概ね良好と思われる	目標達成に向け活動を行う
3. 環境活動計画及び環境経営システム	概ね良好と思われる	継続して活動を行う
4. その他 ( )	特になし	
5. 全体評価 環境に対する意識付けができてきたと思われる。今後も積極的な取組みを続けて欲しい		

10 産業廃棄物kな連・組織の概要（情報公開）

事業者名	有限会社栄和興業			
代表者	鈴木義治			
所在地	岩手県一関市東山町長坂字南磐井里53番地1			
環境管理責任者	佐藤和弘			
エコアクション2.1担当者	佐藤和弘			
連絡先	電話	0191-47-2545	FAX	0191-47-4226
事業活動の内容	産業廃棄物収集運搬業、一般貨物自動車運送事業			
法人設立年月	昭和40年6月	資本金	3百万円	
事業の範囲	岩手県、宮城県、山形県、福島県、秋田県			
許可の内容	許可番号、許可の種類			
	県/許可番号	年月日	種類	
	岩手県 00304051458	許可の年月日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん	
		許可の有効期限	平成29年11月28日 平成34年11月27日	
	宮城県 00400051458	許可の年月日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん	
		許可の有効期限	平成30年9月11日 平成35年9月10日	
	山形県 00609051458	許可の年月日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん	
許可の有効期限		令和1年7月8日 令和6年7月7日		
福島県 00707051458	許可の年月日	燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん		
	許可の有効期限	平成30年12月13日 平成35年12月1日		
秋田県 00504051458	許可の年月日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん		
	許可の有効期限	平成30年11月28日 平成35年11月16日		

受諾した産業廃棄物の処置

処理方法	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)	
(I) 収集運搬	汚泥		37,249.7	
	ばいじん		16,939.1	
	燃えがら		5,801.8	
	鋳さい		1,066.6	
	管理型混合廃棄物		802.4	
	プラスチック類		108.0	
	コンクリートくず		21.4	
	収集運搬量合計			
(II) 中間処理				
	うち 再資源化等			
		再資源化等小計		0.0
中間処理合計			0.0	
(III) 最終処分				
最終処分量合計			0.0	
(IV) 中間処理 後の産業 廃棄物	最終処分			
	再資源化等			
		再資源化等量小計		0.0
中間処理後処分量合計			0.0	